

飯山市で震度5強を記録

『平成19年新潟県中越沖地震』発生

飯山市で震度5強を記録

7月16日の午前10時13分ごろ、新潟県上中越沖の深さ約17キロメートルを震源とするマグニチュード6.8の地震が発生しました。



⑥土砂が一部崩落した市道(富倉地区)

新潟・長野両県で最高震度6弱の強い揺れを観測したこの地震で、飯山市では震度5強を記録。市では16日の午前11時、飯山市地震災害対策本部を設置し、対応にあたりました。

農業を中心に2億円超の被害

平成16年に発生した中越地震の際の震度4を上回る強い揺れに、市内各所で被害が発生。飯山地区本町の水道管が破裂し、近くの商店に水が流れ込むなどの被害が出たほか、家屋では壁や基礎部分にひびが入ったり、土蔵が傾くなどの被害もありました。

農業関係は特に被害が大きく、市内のキノコ農家85

件で、600万本以上の培養、育成ビンが崩れるなど、2億円以上の損害額となっています。

その他、石油タンクの油漏れ、墓石の倒壊、お寺の貴重な仏像が壊れるなどの被害も発生しており、損害額は市全体で約2億7685万円にのぼっています。



⑤被害のあったキノコ工場で作業にあたるボランティアの皆さん。

⑦強い揺れの衝撃で、亀裂の入った道路(外様地区)



④側溝のふちが破損した水路(飯山地区)



④土蔵等、損壊のひどい建物には「立入禁止」の看板も。

ています。(7月26日現在) 市内で被害のあった道路や水道等はいずれも復旧されており、現在使用できない箇所はありませんが、さらに本格復旧工事の必要がある箇所については、今後早急に工事を行っていきま

災害の対応に頼もしい力も 7月17日からは県内の市役所職員や県職員が駆けつけ、キノコ農家の復旧作業を手伝いました。JA職員、飯山市職員とともに延べ879人が作業にあたりました。

また地震による損壊等の被害を受けた家屋について、その家屋の危険度を判定する応急危険度判定が、長野県建築士会飯山支部の皆さんにより、要請のあった家屋70件について調査が行われ、二次災害防止などに大きな力をいただきました。

平成19年新潟県中越沖地震 災害対応・被害状況の概況

災害に対する市の体制と経過

- 7月16日
 - 午前10時13分頃 地震発生・飯山市震度5強
 - 午前11時 飯山市地震災害対策本部 設置
- 7月19日
 - 飯山市災害相談窓口 設置(8月10日まで)
- 7月26日
 - 午後5時 地震災害対策本部を廃止、地震災害連絡本部に切り替え

被害状況(金額は損害額)

(内容は7月30日現在のものです)

- 負傷者 19人
 - ・重傷…2人、軽傷…17人(死者はなし)
- 建物被害
 - ・住家の被害…一部損壊71棟(71世帯230名)
 - ・非住家の被害…土蔵・物置等の一部損壊27棟
- 道路、水道被害
 - ・道路被害(市道)…歩道、側溝等の沈下ほか33か所 600万円
 - ・水道被害…8か所 220万円
 - ・下水道被害…6件 108万円
- 商工被害
 - ・製品、仕掛品原材料等
 - 工業 28件 2,689万円
 - 商業 47件 326万円
 - その他 40件 85万円
- 農業被害
 - ・農道関係 1件 20万円
 - ・水路関係 14件 340万円
 - ・耕地関係 3件 60万円
 - ・畜産関係 3件 266万円
 - ・菌茸関係 85件 2億898万円(栽培容器の倒れ600万本等)
- 都市施設被害
 - ・市営住宅等 30万円
- 市有施設被害(上記に含まないもの)
 - ・克雪センターほか(2件) 207万円
- 教育施設被害
 - ・小中学校
 - 建物関係(6校) 211万円
 - 工作物設備等(5校) 142万円
 - ・社会教育施設等(3件) 1,487万円
- 指定文化財被害
 - 県史跡「正受庵」ほか7件(損害額は調査中)
- その他
 - 油漏れ 12件(灯油11件、重油1件)

市民会館「かまくらホール」の天井等が一部破損 工事のため8月31日までホールが使用できません

中越沖地震により、市民会館の内壁・外壁の一部に亀裂が生じたり、「かまくらホール」の壁の一部が落下したりするなどの被害が発生しました。



⑥かまくらホールの被害の様子。安全にご使用いただくための工事に、ご理解・ご協力をお願いします。

現在の状況では、更なる被害が発生する危険性があるため、8月1日から31日までの1ヶ月間、ホールの修復工事を実施しています。

この工事のため、期間中は「かまくらホール」の使用ができなくなります。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。

なお、かまくらホール以外の会議室等は、工事期間中もすべて使用できますので、ご利用ください。